

プレスリリース

2022年4月26日
国境なき医師団 (MSF)

スーダン：西ダルフール州の病院攻撃で複数の病院が被害に

スーダンの西ダルフール州の町クリニックと州都ジェネイナで先週末、武力攻撃が連鎖的に発生し、報道によると 200 人余りが殺害され、大勢が負傷した。現地で国境なき医師団 (MSF) が支援する病院も巻き込まれ、現地病院スタッフら 4 名が命を落とした。紛争の激化が一部の住民に与える被害を浮き彫りにするもので、MSF はこの攻撃を強い言葉で非難するとともに、紛争の当事者に対し、紛争下においても医療施設・スタッフは保護の対象であり、尊重すべきであることを訴える。

繰り返される暴力

クリニックでは 4 月 22 日、激しい攻撃が始まり、現地で MSF が支援する病院が被害を受けた。医療スタッフ 2 人を含む 3 人が殺害され、院内の薬局が略奪された。同院をサポートする MSF のチームは 4 月 19 日にジェネイナの拠点に戻っていたため、被害当時は病院に居合わせなかった。

一方、4 月 24 日には、ジェネイナの医学校附属病院に武装勢力が侵入、MSF スタッフや病院スタッフが勤務中の救急処置室などで発砲があった。病院スタッフ 1 人が殺害され、MSF スタッフを含む医療従事者は退避した。

尊重されるべき医療施設とスタッフの保護

西ダルフール州では、今回の 2 件にとどまらず、暴力と混乱が続き、MSF もジェネイナでの支援先医療施設の訪問や移動診療を阻まれ、クリニックにも戻れない状態になっている。同地域では以前から援助の必要性が非常に高かったが、今回一連の暴力に直面し、必要な医療へのアクセスがさらに阻害されると懸念されている。

MSF は安全が回復し次第、医療・人道援助の提供を再開できるよう、状況を注視していく。

MSF は西ダルフール州内の複数の場所で活動し、州都ジェネイナと周辺の定点・移動診療を通じて、国内避難民と地元住民の双方に人道援助と基礎医療を提供。また、ジェネイナの医学校附属病院を支援するほか、最近では、クリニックの町の避難民と住民への支援として、移動診療と中核医療施設への協力も開始した。スーダンでは 1978 年から活動を続け、現在はハルツーム州、ゲダレフ州、青ナイル州、カッサラ州、東ダルフール州、西ダルフール州、南ダルフール州、中央ダルフール州に拠点を置き、必要に応じて、他の地域にも緊急対応チームを派遣している。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平、山田瑞穂

携帯：080-2344-0684

E-mail: press@tokyo.msf.org <https://www.msf.or.jp>

 メディア向けツイッターアカウント：@MSFJ_Press